

令和 3年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	大畑中央公園	
指定管理者	団体名	一般財団法人むつ市教育福祉振興会
	代表者	理事長 櫻井以文
	所在地	むつ市大畑町観音堂25-1
指定期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	<p>管理業務の目的</p> <p>条例に掲げる施設の設置目的を達成するために計画的かつ効率的な施設管理を実施するとともに、市民の健康増進並びにスポーツの振興により生活や文化の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>管理業務の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営に係る使用の許可及び利用料金の徴収に関すること。 ・大畑中央公園の施設管理維持に関すること。 ・大畑中央公園の広報及び利用促進に関すること。 ・体育並びにスポーツを通じて地域住民の健康及び体力の向上のための施設提供に関すること。 ・上記に掲げるもののほか施設管理上必要と認められる業務に関すること。 	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区分	計画額 ①	実績額 ②	増減 (②-①)
収入合計 (A)	48,528	47,496	▲1,032
うち利用料金額	2,210	1,065	▲1,145
うち指定管理料	46,228	46,228	0
支出合計 (B)	48,528	46,180	▲2,348
うち人件費	23,346	21,017	▲2,329
収支差 (A-B)	0	1,316	1,316
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	<p>○収入について</p> <p>収入合計の実績額が計画額より 1,032 千円減となっているが、これは利用料金額実績額が、計画額より 1,145 千円減となったことが主な要因である。</p> <p>その要因としては、「3. 施設の利用状況」に示してあるとおり、コロナ禍の中、市内での感染拡大も相まって、利用者数実績が全施設において計画より減となったことによるものであるが、とりわけプール利用者数が 3,400 人減となっていることが、一番大きな減の要因となっている。</p> <p>○支出について</p> <p>支出合計の実績額が計画額より 2,348 千円減となっている要因は、人件費実績額が、計画額より 2,329 千円減となったことが主な要因である。</p> <p>その要因としては、当法人内の人事異動に伴い正職員 1 名が当法人で業務運</p>		

	営している他施設へ異動となったこと及び退職職員の欠員補充ができずに施設勤務職員が1名減となったことによるものである。
--	------------------------------------------------------------

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	プール	9,000	5,600	▲3,400
	野球場	2,400	1,517	▲883
	庭球場	600	211	▲389
	陸上競技場	4,300	3,407	▲893

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有)・無)

利用者の声は、意見箱を設置して利用者ニーズの把握に努めた。ホームページからも意見や要望を受信できるようにしている。

意見箱で受けた意見等については、全員で共有し検証しており、改善すべき部分は具体的な対策を持って対応した。

意見箱及びホームページからの受信への回答は、プール棟廊下に掲示板を設けており利用者への報告を兼ねて公表した。

意見の内容は、好意的な意見が多い。中には要望も含まれており、その内容については、月次報告や口頭により担当課に送付をするなど実現に向けて調整をした。特に施設設備に係る備品等について、数年に渡る要望の物品が予算化されない部分は、誠意ある説明又は創意工夫を持って要望に対応した。

利用者からの苦情については、真摯に受け止めている。施設管理者側の真意を丁寧に説明し理解と協力を得られるよう、迅速且つ事実に基づき、誠意を持って対応することを徹底した。

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
スポーツ振興事業・水泳教室	1,084	818	516
スポーツ振興事業・ルネックウォーキング教室	24	25	32
スポーツ振興事業・グラウンドゴルフ教室	22	0	34
スポーツ振興事業・少年軟式野球大会	0	0	53

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A(優良)：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B(適正)：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C(要改善)：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B

	②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
	③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	A
(3) 効率性の向上に関する取組み状況			
	①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
	②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
	③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況			
	①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
	②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
	③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
	④利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況			
	①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
	②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
	③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
	④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

コロナ禍の自粛が漂う夏季と、感染拡大への警戒が高くなった冬季の一年だったため、市民の我慢が続き施設利用にも影響が及んだ。

新型コロナ感染防止対策として、むつ市が示す対応に基づき、当振興会のマニュアルを整備することにより利用者及び施設の安全を確保するとともに、スタッフについても徹底した感染予防対策を図ったことから、施設からの感染はなかった。

特に、利用の制限下においては、施設の安全を確保するため、受付による検温や健康観察等の水際対策を徹底し、利用者記録簿により利用者の把握を行ったほか、定期的に施設内の換気及び消毒について対応した。

基本的な感染症対策に伴い、マスク着用、人との距離、手指衛生について、利用者の協力を得ながら実践しており、遊泳施設はマスクを着用できないことから、入館時の検温及び手指消毒を徹底し、付き添いの人数を制限するなどの具体的な措置を講じた。

さらに、二酸化炭素測定器をプール施設内に4箇所設置して客観的にプール室内環境の確認をし、目に見える形で施設の安全を担保した。

「5. 個別項目評価」において、自己評価をAとした項目の内容については、次のとおりである。

まず、利用者の意見の聴取に基づく取組み等については、「3. 施設利用の状況」に記載したとおり、アンケートやホームページから意見を聴取し、施設職員で協議、検討を行い、改善等の対応にあたったことを評価した。

次に、自主事業については、施設及び周辺環境を十分に活用し利用促進に大きく寄与した。水泳教室は、6月から実施した。プール施設の利用の機会を増やすとともに、健康増進及び水泳の競技人口増加につながるきっかけづくりとして役割を果たしている。水泳教室の参加者数は、プール利用者数全体の約2割を占め、参加料収入については、プールの利用料金収入と同等の収入となった。

ノルディックウォーキング教室は、新たな試みとして国道279号線の新しいバイパスの景観を楽しみながら木野部峠を越えて自然の家までのコースを設定して実施し、5月は新緑により春を感じ、

10 月は紅葉により秋を味わいながら、森林のマイナスイオンと風の音を感じつつウォーキングし、参加者から大変好評を得た。

また、新たな自主事業として、グラウンド・ゴルフ教室を実施した。むつグラウンド・ゴルフ協会の協力を得て6～9月の毎月第4水曜日に実施した。当初、参加者の多くが初心者ということもありルールとマナーの説明から始めたが、回を重ねるごとに楽しさが増し、小雨の開催でも大いに盛り上がった。参加者から、「次年度は実施回数を増やしてほしい。」との意見が多く寄せられ、評価が高かったと受け止めている。次年度は、時間や実施回数を増やす方向で考えている。

自主事業の中には、少年野球大会や着衣水泳教室など市内でのコロナ感染拡大により中止したのものもあったが、参加者からの開催要望が強いので、今後も継続したい。

次に、職員の教育訓練については、新型コロナウイルス感染状況に応じて参加できる研修等には積極的に参加したかったが、市外での研修にはなかなか参加できなかった。しかし、従事員研修等の充実を図り、新型コロナウイルス対応マニュアルを徹底するために時間を設けて理解を深めた。

最後に、防犯、防災対策等については、計画にある消防訓練、救助訓練はもとより、施設のサービス向上のために適時に実施した。

危機管理体制については、地震発生時、悪天候時等には施設点検を行い報告している。また、8月の豪雨災害時には、担当課と連携を取り避難者7人を受入れて市民の安全を確保した。

プール施設は設置から30年近く経過しているため、設備等の経年による修繕等が増えてきているが、日常点検を確実に行之、設備不備の早期発見に努めて維持管理による効果を高めたい。

これまで当施設を管理してきた経験を活かして、積極的な運営により効果の高い報告ができるように、更なる努力をする所存である。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

- 基本的感染症対策をはじめ、施設独自のコロナ対応マニュアルを作成するなど、コロナ禍でありながらも安心して利用できるよう創意工夫した結果が、同じコロナ禍であった前年度比で利用者数増加から見て取れるため、今後も利用者数の回復を目指し、市民の健康増進に寄与していただきたい。
- 8月の豪雨災害では、市の避難所に指定されていないにも関わらず、避難者を柔軟に施設に受け入れ、市民に安心を提供できたことは大きく評価できる。また、地震や強風が発生するたび施設を巡回した後、直ちにFAXで状況報告していることも評価できるためA評価とした。
- 自主事業では、陸上競技場でのグラウンドゴルフ教室を開催するなど施設を活かした催しを行っている点は評価できる。今後も市民が参加しやすいレクリエーション競技をはじめ、健康増進や施設利用者増加につながる自主事業を考案してほしい。